

市 民 交 流 課

○ 男女共同参画関係

1 男女共同参画啓発記事掲載事業

男女共同参画に関して広く市民に情報発信するため、公募市民4人の企画編集による「めざそや！共同参画」を広報いせへ4回掲載した。

(1) 編集会議

4月～3月まで24回の編集会議

(2) 内 容 広報いせ1ページ分

掲載月	内容
5月号	①誰もが生きやすい社会に ②私たちにできること
8月号	①男女共同参画の視点が男性を救う ②演劇「シングルマザーズ」は語る ③ダイバーシティのある社会づくり
11月号	①人は、支え合って生きている ②華和家の「人と比べない幸せ」 ③声 パートナーの日啓発講演会から
2月号	①震災復興にも男女共同参画の視点を ②「7人の育ジィ」行動開始 ③伊勢市民も受援力を高めよう

2 男女共同参画推進都市事業

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、男女共同参画社会の実現を目指した取組を行った。

なお、企画運営については、公募市民12人で組織する「男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託し、協働して行った。

ア パートナーの日の啓発

男女がお互いを思いやり、感謝する「パートナーの日（8月17日）」を広く市民に周知するため、啓発事業を行った。

①啓発品配布

実施日	実施場所	内 容
23. 7. 31	福祉健康センター(ボランティアまつり)	啓発用ティッシュの配布
23. 8. 17	ミタス伊勢	

②講演会

開催日	開催場所	内 容	参加人数
23. 7. 30	ハートプラザみその 多目的ホール	笠井 信輔 氏 講演会 「息子三人、アナウンサー・記者夫婦奮闘物語」	人 350

イ 三重県内男女共同参画連携映画祭

三重県内の男女共同参画を推進するため、県内の男女共同参画センター4館と16市町が連携して映画祭を開催した。

(伊勢市開催分)

開催日	開催場所	内 容	参加人数
23. 6. 26	ハートプラザみその 多目的ホール	映画「武士の家計簿」上映	人 344

ウ 男性向け生活講座

家庭生活における男女共同参画を目指して、家庭で女性が担うことの多い介護、料理への参画を促すため、男性を対象とした講座を開催した。

開催日	開催場所	内 容	参加人数
23. 5. 29	ハートプラザみその 教養娯楽室	だれでもできる介助講座 講師：(株)森伸 代表取締役 森下 真二 氏	人 22
23. 10. 2	ハートプラザみその 栄養指導室	男性も作れるヘルシー料理教室 講師：男女共同参画れいんぼう伊勢	16

エ 縁結び応援事業の開催

男女の出会いの場を提供すると共に、家庭生活における男女共同参画推進やお互いを思いやる意識を醸成するため、独身男女を対象に縁結び応援事業を開催した。

開催日	開催場所	内容	参加人数
23. 11. 13	尾崎罌堂記念館	「うましくに伊勢 出逢いのレストラン」 三重大学石阪准教授による講話、ビュッフェ 形式のランチ、フリートーク、ゲームなど	人 59

オ イクメン講座の開催

男性が子育てに係わることで得られる効果を感じ取り、積極的な育児参画を促すため、子育て中のパパとその家族を対象としたイクメン講座を開催した。

開催日	開催場所	内容	参加人数
24. 2. 12	ハートプラザ みその 栄養指導室ほか	「子どもの遊び場 パパのしゃべり場 応援カフェ」 パパと子どもでピザ作り、パパのカフェトーク、人形劇鑑賞など	人 55

3 男女共同参画審議会の開催

男女共同参画基本計画（れいんぼう計画）に基づいた男女共同参画の推進に関する施策の実施状況について、審議した。

	開催日	開催場所	内 容
第 1 回	23. 6. 17	市役所東庁舎 4-2 会議室	①平成 22 年度事業実施状況及び平成 23 年度事業予定について ②平成 23 年度審議会等への女性委員の登用状況について
第 2 回	24. 2. 23	市役所東庁舎 4-2 会議室	①平成 23 年度事業取組状況と今後の方向性について ②第 2 次れいんぼうプラン策定計画について

4 男女共同参画研修の開催

男女共同参画に対する理解を深めるため、市民及び推進委員を対象とした研修会を開催した。

開催日	場 所	内容	参加人数
24. 1. 18	市役所 4-5 会議室	男女共同参画社会とその必要性 講師：三重大学客員教授 鈴山 雅子氏	人 33

5 母子家庭等の女性のためのパソコン講座の開催

経済的に困難な状況にある女性の自立を支援するため、三重県男女共同参画センター等と連携し、パソコン講座を開催した。

	開催日	場所	参加人数
平日コース	24. 3. 5・7・8 (3 日間)	ハートプラザみその 保健会議室	人 9 (うち市内在住者 3)
土日コース	24. 3. 3・17・18 (3 日間)		13 (うち市内在住者 10)

○ 市民交流関係

1 市民活動促進事業

(1) いせ市民活動センター指定管理者制度

平成 16 年 4 月に公設公営でセンターを稼動し、平成 16 年 7 月には、指定管理者制度を導入して公設民営で稼動。平成 24 年度から第 4 期目（5 箇年）の指定管理者を選定している。

期 間	委 託 金 額	指定を受けた管理者
<第 1 期> 自 16. 7. 1 至 17. 3. 31	円 7,828,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット
<第 2 期> 自 17. 4. 1 至 21. 3. 31	48,202,000	〃
<第 3 期> 自 21. 4. 1 至 24. 3. 31	46,777,000	〃
<第 4 期> 自 24. 4. 1 (予定) 至 29. 3. 31	59,832,000	〃

(2) 事業の内容

ア いせ市民活動センター運営事業

- ・市民活動の拠点として、また中間支援施設としての市民公益活動の相談、ホームページ (<http://skc.e-ise.net>)、情報誌（「パルティ」年 4 回発行）等を活用し市民活動に関する情報の収集及び提供等を行った。
- ・交流事業などを通して、さまざまな団体と結びつき、広く市民活動への理解を深めた。

期 日	内 容
23. 6. 5	第 1 回東日本大震災チャリティーLIVE (いせ市民活動センター東日本大震災復興支援プロジェクト事務局へ寄付)
23. 7. 30	チャリティーコンサート第 9 回ミュージックコミュニケーション開催 (いせ市民活動センター東日本大震災復興支援プロジェクト事務局へ寄付)
23. 12. 17	チャリティーコンサート第 10 回ミュージックコミュニケーション開催 (いせ市民活動センター東日本大震災復興支援プロジェクト事務局へ寄付)
24. 3. 20	第 2 回いせ市民活動フェスティバル 2012

- ・ワーキングスペースに印刷機、コピー機、レンタル P C（センター内の利用に限る）を設置。また、会議スペース、フリースペース、情報スペースを開放し市民活動を支援した。同時に、市民活動支援パソコン講習会等も開催した。

イ センター管理業務

施設利用の登録、使用許可及び施設・設備及び機器の維持管理

(施設稼働状況)

	北 館					南 館	
	平 均 稼 働 率				利用者数	平 均	利用者数
	多目的 ホール	A会議室	B会議室	1 F ホール		稼働率	
19. 4. 1 ～ 20. 3. 31	% 37.4	% 33.3	% 35.5	% 19.8	人 47,898	% 27.5	人 16,808
20. 4. 1 ～ 21. 3. 31	41.5	38.2	42.2	16.8	48,152	27.6	16,247
21. 4. 1 ～ 22. 3. 31	39.3	42.0	45.5	24.7	42,273	26.7	15,963
22. 4. 1 ～ 23. 3. 31	37.0	47.5	60.1	29.5	42,450	24.3	19,012
23. 4. 1 ～ 24. 3. 31	36.2	43.7	53.2	28.4	44,131	29.9	19,288

※平均稼働率…稼働実績時間数／稼働可能時間(11 時間)×稼働可能日数

(登録団体数)

基準日	登録団体数
16. 7. 1	59 団体
18. 3. 31	82
19. 3. 31	102
20. 3. 31	113
21. 3. 31	127
22. 3. 31	143
23. 3. 31	156
24. 3. 31	153

(3) 協働事業の実践

平成 16 年 9 月、台風 21 号により甚大な被害を被った経験を教訓に、「災害に強いまちづくり」を目指し、平成 17 年度に市民と協働で取り組む「伊勢市防災しみんの会」を設立した。

主なメンバーは、いせ市民活動センター、伊勢市社会福祉協議会、伊勢市ボランティア連絡協議会、市民有志、伊勢市（市民交流課、危機管理課）。

また、同会の協力を得て作成した「伊勢市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」に基づき、災害時における伊勢市と社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会との災害ボランティアセンターの設置と運営等に関する協定を平成 24 年 1 月 23 日に締結した。

2 活性化活動事業

市内に活動拠点を置く地域グループや活動団体が、元気で活気溢れる地域づくりに貢献し市民自治の担い手として活動を継続的に続けるために、その経費の一部を補助した。

選考は平成 23 年 5 月 29 日に、申請団体の公開プレゼンテーションによる審査会を開催し、交付団体を決定した（申請 13 団体、決定 8 団体）。審査員には民間及び学識経験者から 5 名、県職員 1 名を委嘱した。

なお、補助金は補助対象経費の 10 分の 8 以内、10 万円を上限額として交付した。

○対象事業

保健・医療又は福祉の増進、子どもの健全育成、社会教育、まちづくりの推進、学術・文化・スポーツの振興、環境の保全、災害救援、地域安全、人権の擁護又は平和の推進、国際協力、男女共同参画社会の促進、雇用機会の拡充支援、情報化社会の発展等を内容とする活動

○平成 23 年度交付団体（8 団体）

団体名	事業内容	交付額
NPO 法人ステップワン	地域住民との交流促進事業	100,000 円
尾上まちづくり実行委員会	地域元気プロジェクト	100,000
四郷コミュニティセンター運営委員会	地域交流室（四郷コミュニティセンター内）の企画展や四郷地区の歴史探訪、各種講座の充実	100,000
俳祖守武翁顕彰会	第 57 回守武祭記念俳句大会	100,000
福祉の店「えがお」	新設コーヒーショップ	100,000
二見浦俳句大会実行委員会	第 48 回二見浦俳句大会	100,000
二見ふれ愛マラソン実行委員会	二見ふれ愛マラソン	100,000
和太鼓伊勢天翔	和太鼓の伝承活動	100,000
計		800,000

3 伊勢のまつり開催事業

平成 23 年度は総勢 66 団体の代表者等からなる実行委員会で、「自分たちの祭りを自分達で考え、開催していく」をコンセプトとして企画、運営を行った。

また、高柳商店街での「食の祭典いただきフェス」や、伊勢市駅前広場での「伊勢っ子ものしり王選手権」が伊勢まつりに併せて開催された。

さらに、10月15日には、初穂曳（外宮領）と神嘗奉祝祭が同時開催され、前年にないまつりの魅力が創出された。

しかし、15日（土）は雨天により参加を取りやめる団体もあった。

○開催日 平成23年10月15日（土）、16日（日）

○会場 高柳商店街周辺～伊勢市駅周辺

○参加団体数 191団体（5,686人）

○観客数 約13万人

4 地区連絡員事業

行政の運営を円滑に且つより効果的に行うため、市内に地区連絡員（176人）を配置し、行政情報等の伝達を行った。

（1）市の広報紙等の配付（月2回）

（2）その他市長が特に必要と認める職務

平成23年3月31日現在の世帯数で報酬額を算定

最多世帯数 一之木地区 1,334世帯 最少世帯数 峰団地 11世帯

平均世帯数 302世帯（報酬総額 101,986,200円）

○ コミュニティセンター関係

1 地区コミュニティセンター維持管理経費

コミュニティセンター使用状況

豊浜・城田・沼木・神社・北浜・浜郷・宮本・大湊地区コミュニティセンターについては、地域の会合、生涯学習・スポーツ課の出前講座など地域のコミュニティや生涯学習の場として活用されている。

（1）豊浜地区コミュニティセンター（H23.4.1～H24.3.31）

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
67	0	67	922	112	270

（2）城田地区コミュニティセンター（H23.4.1～H24.3.31）

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室1	会議室2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
99	36	135	1,650	373	942

(3) 沼木地区コミュニティセンター・農村環境改善センター (H23. 4. 1～H24. 3. 31)

会議室利用状況					図書室利用状況	
会議室	生活研修室	営農相談室	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件 72	件 70	件 18	件 160	人 2,970	人 424	冊 903

(4) 神社地区コミュニティセンター (みなとデイサービスセンターに併設)
(H23. 4. 1～H24. 3. 31)

図書室利用状況	
貸出人数	貸出冊数
人 807	冊 2,042

(5) 北浜地区コミュニティセンター (H23. 4. 1～H24. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件 67	件 32	件 99	人 1,592	人 406	冊 1,580

(6) 浜郷地区コミュニティセンター (H23. 4. 1～H24. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件 189	件 2	件 191	人 2,338	人 163	冊 636

(7) 宮本地区コミュニティセンター (H23. 4. 1～H24. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件 157	件 190	件 347	人 2,774	人 243	冊 758

(8) 大湊地区コミュニティセンター (H23. 4. 1～H24. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件 43	件 34	件 77	人 1,392	人 149	冊 326

○ 国際交流推進事業関係

1 国際交流推進事業

市民ボランティア及び外国籍を持つ人々と「ともに暮らす国際交流のまちづくり」を推進した。

(1) 外国人住民への支援

ア 外国人研修制度により来日した中国人研修生、ネパール人研修生対象の説明会を開催

・日時 平成 23 年 4 月 7 日、4 月 25 日、5 月 19 日、6 月 24 日、8 月 16 日、10 月 7 日、11 月 17 日、平成 24 年 1 月 13 日、2 月 23 日、3 月 28 日

・場所 小俣町環境改善センター、中村町公民館

イ 外国人のための生活ガイドの改訂、配布

伊勢市で生活する外国人住民の日常生活の利便を図るため、基本的な情報を掲載した「伊勢市生活ガイド」(日本語版、中国語版、ポルトガル語版、英語版)を随時改訂し、配布した。

ウ 外国人向け防災研修の開催

三重県国際交流財団に依頼し、在住外国人向けに防災研修を開催した。

・日時 平成 23 年 6 月 28 日

・場所 伊勢市観光文化会館

・参加人数 44 人(中国 27 人、韓国 2 人、ブラジル 2 人、フィリピン 1 人、カナダ 1 人、日本 11 人)

エ 防災マニュアル等の外国人全世帯への配布

外国人向け防災研修の際に配布した翻訳資料(中国語、ポルトガル語、スペイン語、英語、タガログ語)を市内在住外国人全世帯(特別永住者を除く)652 世帯へ配布した。

オ 三重県市町多文化共生ワーキングへの参加

外国人の定住化が顕著になる中、県内の外国人住民と共生する施策を考えるための多文化共生ワーキングが三重県及び 11 市町のメンバーにより開催され、計 12 回参加した。

市町の窓口において使用する「指差し会話集」、多言語訳の「外国籍児童生徒用の職業案内」の普及を行った。

(2) 国際交流関係

ア 伊勢市国際交流協会

国際交流事業を通して、市民と外国の人々との交流、親善の促進と国際相互理解の増進を図り、世界平和の理念の達成に資するとともに、国際感覚あふれるまちづくりに寄与することを目的として活動している。市は、事務局としてその活動を支援し、市民とともに伊勢市の国際化に関する事業を推進している。

- 主な事業
- ・外国人住民のための日本語教室
 - ・国際理解講座
 - ・ホームステイ
 - ・世界の文化の紹介イベント
 - ・会報誌「フィロス」の発行 等

平成 24 年 3 月末会員数 個人会員 125 名、団体会員 6 団体、企業会員 3 企業

イ 全米桜祭り

平成 24 年 4 月に米国・ワシントン D. C. にて開催された全米桜祭りに向けての準備を行った。

○ 自治会関係

1 区長謝礼事業

市内 173 自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。
(報償費総額 7,290,000 円)

2 振興助成金事業

市内 173 の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	振興助成金		
			平等割	世帯割	合計
本庁	50	19,407	円 2,500,000	円 6,792,450	円 9,292,450
支所	72	19,502	3,600,000	6,825,700	10,425,700
二見総合支所	10	3,388	500,000	1,185,800	1,685,800
小俣総合支所	27	7,293	1,350,000	2,552,550	3,902,550
御薗総合支所	14	3,585	700,000	1,254,750	1,954,750
合計	173	53,175	8,650,000	18,611,250	27,261,250

3 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が主体的に取り組む事業に対して、補助した。

補助金の限度額は、対象事業費に対して 3 分の 2 を乗じた額か、世帯割に応じて積算された額を比較し、いずれか低い額を限度額として交付した。

(対象事業)

- ①地域に根ざした伝統文化の継承事業 22 件
 - ②地域の特性を生かしたイベントなどの地域おこし事業 12 件
 - ③地域内の清掃美化等の環境保全事業 78 件
 - ④補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業 9 件
 - ⑤訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業 21 件
 - ⑥少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業 8 件
 - ⑦住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業 103 件
 - ⑧その他市長が特に必要と認める事業 0 件
- ・平成 23 年度対象自治会 173 自治会
- ①交付申請・決定 8,714 千円 (141 自治会)
 - ②交付確定 8,456 千円 (139 自治会)

4 コミュニティ助成事業

(財) 自治総合センターが、宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業であり、コミュニティ活動の健全育成を図り、宝くじの普及広報を目的としコミュニティ組織である自治会にコミュニティ事業補助金を交付した。

交付決定自治会 6 自治会

交付決定額 23,900 千円

自治会名	補助金額	事業名
小俣町新出自治区	1,500,000 円	文化・学習活動用備品購入
上久保自治区	1,500,000	祭り用具購入
光の街区自治会	2,500,000	放送設備の整備
田尻町会	2,400,000	〃
小俣町栄町自治会	1,000,000	文化・学習活動用備品購入
川端町自治会	15,000,000	川端町自治会公民館新築工事
計	23,900,000	

5 伊勢市総連合自治会事務

伊勢市総連合自治会は、各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親睦と市民の福祉増進に努めるとともに、市政の発展に寄与することを目的として活動しており、その事業活動を支援するため補助金を交付した。

(補助金 1,430,000 円)

6 地縁団体等関係

地方自治法第 260 条の 2 の規定に基づき、自治会等地縁による団体の法人格取得について、認可事務を行った。

平成 23 年度 地縁団体認可団体数 5 団体 (累計認可団体数 69 団体)

○ 地域自治推進関係

1 地域自治推進事業

「ふるさと未来づくり」を推進するにあたって、市役所と地域とのパイプ役として各小学校区に配置した「地区担当職員」が地域で懇談会等を行い、地域自治組織である「地区みらい会議」（仮称）の設立を進めるとともに、取り組みに対する地域住民の理解促進を図った。

また、地域リーダー養成のための研修会や、市民の自治意識啓発のための講演会を開催した。

（１）「地区担当職員」によるまちづくり支援

市と地域とのパイプ役として各小学校区に配置された市職員（地区担当職員）が行政情報の提供及び地区情報の収集を行うとともに、「地区みらい会議」（仮称）の設立に向けて地域自らのまちづくりを支援した。

また、各地区の取り組み状況の把握と情報交換、相互調整を行うため、各地区の班長で組織した「地区担当者会議」を随時開催した。

ア 地区担当職員数

課長級職員 75 人

（内訳：明倫、佐八、二見、御薗学区は各 4 人、小俣・明野学区は 5 人、その他学区各 3 人）

※任期は、平成 23 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの 3 年

イ 地区担当者会議

第 1 回

開催日 平成 23 年 6 月 16 日（木）

内 容 ・「ふるさと未来づくり」における役割分担及び財政支援について
・各地区の取組み状況の情報交換
・その他

第 2 回

開催日 平成 24 年 2 月 24 日（金）

内 容 ・「ふるさと未来づくり」の今後の方向性について
・各地区の取組み状況の情報交換
・その他

（２）広報活動

ケーブルテレビで「ふるさと未来づくり」の概要を伝えるとともに、「広報いせ」でもシリーズで「私たちの地域だから、私たちがやりたいことがある」と題して「ふるさと未来づくり」の概要を伝えた。

(3) 研修会、講演会等の開催

ア 「まちづくり人材養成講座」の開催

「ふるさと未来づくり」を進めるための知識や手法を習得し、地域に根ざした創造性豊かなまちづくりの推進役となる人材を養成するため講座を開催した。

第1回 「地域づくり全体を学ぶ」

開催日 平成23年9月10日(土)

開催場所 伊勢商工会議所 5階大ホール

講師 四日市大学総合政策学部 小林 慶太郎 准教授

参加者 一般公募、自治会関係者、地区担当職員 52人

第2回 「地域の課題発見を学ぶ①」

開催日 平成23年10月1日(土)

開催場所 伊勢商工会議所 5階大ホール

講師 皇學館大学現代日本社会学部 筒井 琢磨 教授

参加者 一般公募、自治会関係者、地区担当職員 45人

第3回 「地域の課題発見を学ぶ②」

開催日 平成23年11月5日(土)

開催場所 いせトピア 3階研修室1・2

講師 皇學館大学現代日本社会学部 筒井 琢磨 教授

参加者 一般公募、自治会関係者、地区担当職員 36人

イ 「地域主体の新たなまちづくり講演会」の開催

新たな住民自治の仕組みづくりとしての「ふるさと未来づくり」に対する理解を更に深め、市全体の気運の醸成を図るため講演会を開催した。

開催日 平成23年11月19日(土)

開催場所 ハートプラザみその 多目的ホール

講演 「地域主体の新たなまちづくり ～小学校区単位の活動の発展に向けて～」

講師 愛知学泉大学コミュニティ政策学部 山崎 丈夫 特命教授

参加者 一般市民、自治会関係者、各種団体、市議会議員、職員等 合計180人

(4) 「地区みらい会議」(仮称)への財政支援

「地区みらい会議」(仮称)が実施する事務事業の財源として、ふるさと未来づくり支援補助金を交付した。

・補助金の内容

補助対象経費	補助金額
事務運営費	2,400,000円
家賃等補助加算額	賃借料相当額(上限600,000円)
活動事業費	1,000,000円

- ・交付件数: 3件(厚生地区まちづくりの会、小俣まちづくり協議会、沼木まちづくり協議会)

2 市民活動補償制度

「ふるさと未来づくり」での活動を含め、市民が安心して活動を行えるよう、活動拠点が伊勢市にある市民団体等の公益活動中に起きた事故に対し、傷害事故や賠償責任事故を補償する制度を導入した。

名 称	「市民活動補償制度費用保険契約」
契約額	2,499,680 円
適用件数	3 件（いずれも傷害補償）

○ 合併調整関係

1 地域審議会正副会長会議

市民の声を施策に反映させることを目的に合併前の4市町村の協議により、各区域を単位に設置している地域審議会の活動状況報告、連絡調整、意見交換の場として正副会長会議を次のとおり開催した。

第1回地域審議会正副会長会議

開催日	平成24年2月3日（金）
開催場所	市役所東庁舎4-2会議室
協議事項	・各地域審議会の状況及び今後の進め方

戸 籍 住 民 課

○ 届出係

1 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数及び人口

区 分		平成 24 年 3 月末
世 帯 数		53,027 世帯
人 口	男	62,728 人
	女	69,459
	計	132,187

(注) 伊勢市総数

(2) 住民異動状況

区 分		人 数
届 出	転 入	3,296 人
	転 出	3,468
	転 居	3,456
	世 帯 変 更	2,016
	そ の 他	30
職 権	出 生	1,077
	死 亡	1,488
	職 権 消 除	4
	修 正	3,604
計		18,439

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍及び本籍人口（平成 24 年 3 月 31 日現在）

戸 籍 数	62,421 戸籍
本 籍 人 口	153,470 人

(注) 伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事 件 の 種 類	届 出	他市町村からの送付	計
出 生	888 件	411 件	1,299 件
婚 姻	527	914	1,441
離 婚	190	138	328
死 亡 ・ 失 踪	1,261	338	1,599
養 子 縁 組	66	41	107
養 子 離 縁	23	11	34
国籍の得喪・留保	7	15	22
本 籍 表 示 の 変 更	240	252	492
上記以外で氏・名の変更に生じるもの	286	139	425
上記以外で身分に変更が生じるもの	19	20	39
訂 正 ・ 追 完	105	10	115
不 受 理 申 出	17	7	24
そ の 他	1	3	4
合 計	3,630	2,299	5,929

(3) 戸籍事務処理状況

区 分	件 数
新 戸 籍 編 製	862 件
戸 籍 全 部 消 除	939
通 知 違 反	9
そ の 他	1
計	1,811

(4) 人口動態調査票作成状況

区 分	男	女	不 詳	計
出 生	627 件	551 件	0 件	1,178 件
死 亡	767	749	1	1,517
死 産	12	4	5	21
婚 姻				642
離 婚				230
合 計				3,588

(注) 人口動態調査令(昭和21年勅令第447号)に基づき保健所へ提出。伊勢市総数

(5) 相続税法による死亡通知件数 1,518 件

(注) 相続税法（昭和 25 年法律第 73 号）第 58 条に基づき税務署へ通知。伊勢市総数

(6) 死産届出受理状況

男	女	不 詳	計
12 件	4 件	5 件	21 件

(注) 伊勢市総数

(7) 埋葬・火葬許可状況

区 分	大 人	小 人	胎 児	計
埋 葬	0 件	0 件	0 件	0 件
火 葬	1,096	1	18	1,115
合 計	1,096	1	18	1,115

(8) 民刑事事項等処理状況

区 分	件 数
犯 罪 関 係 通 知	376 件
民 事 関 係 通 知	36
身 元 事 項 照 会	2,741
計	3,153

(注) 伊勢市総数

3 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居番号を付定し、それぞれの申請者へ通知した。

住 居	事 務 所	事業所等	計
76 件	0 件	17 件	93 件

○ 証明係

1 住民関係

(1) 住民票関係の交付等の状況

区 分		有料（件）	無料（件）	計（件）	収入金額（件）
住 民 票 の 写 し	本庁	30,540 (4,639)	6,803	37,343 (4,639)	6,108,000
	支所	10,305	3	10,308	2,061,000
広域交付住民票の写し	本庁	53	0	53	10,600
	支所	6	0	6	1,200

戸籍の附票の写し		本庁	1, 895	4, 590	6, 485	379, 000
		支所	408	2	410	81, 600
住民票記載事項証明		本庁	974	196	1, 170	194, 800
		支所	344	14	358	68, 800
住民基本台帳カード		本庁	552	37	589	276, 000
		支所	0	0	0	0
住民基本台帳閲覧		本庁	183	0	183	36, 600
		支所	0	0	0	0
印鑑登録証明		本庁	23, 808 (9, 074)	64	23, 872 (9, 074)	4, 761, 600
		支所	10, 848	88	10, 936	2, 169, 600
諸証明	身分証明	本庁	947	0	947	189, 400
		支所	280	0	280	56, 000
	その他	本庁	306	67	373	61, 200
		支所	45	3	48	9, 000
外国人登録関係証明		本庁	524 (65)	122	646 (65)	104, 800
		支所	26	0	26	5, 200
合 計		本庁	59, 782 (13, 778)	11, 879	71, 661 (13, 778)	12, 122, 000
		支所	22, 262	110	22, 372	4, 452, 400
		計	82, 044 (13, 778)	11, 989	94, 033 (13, 778)	16, 574, 400

(注 1) ()は自動交付機による内数。

(注 2) 閲覧用紙 1 枚 (20 人まで抽出可能) で 1 件

(2) 住民基本台帳の閲覧団体数 32 団体

(3) 住民基本台帳事務における支援措置者数 (平成 24 年 3 月 31 日現在)

(ドメスティック・バイオレンス及びストーカー行為等の被害者の保護のための措置)

区 分	申 出 者	併せて支援を求める者	計
当市での申出受理	20 名	23 名	43 名
他市からの支援要請	7	10	17
合 計	27	33	60

(注) 住民基本台帳法による住民票発行抑止及び戸籍の附票発行抑止の対象者

(4) 印鑑登録数 (平成 24 年 3 月 31 日現在) 88, 215 件 (伊勢市総数)

(5) 印鑑登録事務処理状況 (伊勢市総数)

区 分		件 数
増	登 録	4,764 件
	そ の 他	8
	計	4,772
減	廃 止	414
	亡 失	1,601
	死 亡	1,319
	転 出	1,237
	そ の 他	292
	計	4,863

(6) 住居表示関係証明件数 42 件

(7) 電子証明書の状況

有 料	無 料	計	金 額
623 件	8 件	631 件	311,500 円

2 戸籍関係

(1) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分			件 数			収入金額（円）
			有料（件）	無料（件）	計（件）	
戸 籍	全部事項 (謄 本)	本庁	11,326	3,223	14,549	5,096,700
		支所	2,891	1	2,892	1,300,950
	個人事項 (抄 本)	本庁	3,957	239	4,196	1,780,650
		支所	1,411	0	1,411	634,950
	一部事項	本庁	1	1	2	350
		支所	1	1	2	350
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	2	0	2	700
	計	本庁	15,284	3,463	18,747	6,877,700
		支所	4,305	2	4,307	1,936,950
		計	19,589	3,465	23,054	8,814,650

除 籍 改製原戸籍	全部事項 (謄 本)	本庁	10, 249	4, 125	14, 374	7, 686, 750
		支所	2, 248	0	2, 248	1, 686, 000
	個人事項 (抄 本)	本庁	61	53	114	45, 750
		支所	61	1	62	45, 750
	一部事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	計	本庁	10, 310	4, 178	14, 488	7, 732, 500
		支所	2, 309	1	2, 310	1, 731, 750
		計	12, 619	4, 179	16, 798	9, 464, 250
受 理 証 明 等		本庁	148 (2)	0	148 (2)	53, 900 (2, 800)
		支所	5 (1)	0	5 (1)	2, 800 (1, 400)
届書記載事項証明		本庁	142	2	144	49, 700
		支所	39	0	39	13, 650
合 計		本庁	25, 884 (2)	7, 643	33, 527 (2)	14, 713, 800 (2, 800)
		支所	6, 658 (1)	3	6, 661 (1)	3, 685, 150 (1, 400)
		計	32, 542 (3)	7, 646	40, 188 (3)	18, 398, 950 (4, 200)

(注) () は、特別受理証明書(上質紙使用)の内数。

3 外国人登録関係

(1) 外国人登録事務状況(伊勢市総数)

異 動 事 由	件数 (件)	異 動 事 由	件数 (件)	異 動 事 由	件数 (件)
入 国	307	登録証再交付	8	帰 化	0
出 生	4	登録内容変更	741	死 亡	4
日本国籍離脱	0	転 居	196	転 出	271
転 入	102	出 国	207	確 認	135
登録証引替	17	国 籍 取 得	0	そ の 他	20

(2) 外国人登録者国籍別在籍人員（平成 24 年 3 月 31 日現在 伊勢市総数）

外国人登録者総数 993 人（男 396 人、女 597 人）

世帯数 782 世帯

国 籍	男（人）	女（人）	計（人）
オーストラリア	2	1	3
ボリビア	1	0	1
ブラジル	120	73	193
ミャンマー	1	1	2
カナダ	3	1	4
スリランカ	1	0	1
中国	122	293	415
フランス	0	1	1
アイスランド	0	1	1
インドネシア	3	4	7
アイルランド	1	0	1
イタリア	0	1	1
ジャマイカ	1	2	3
朝鮮	5	6	11
韓国	75	99	174
マレーシア	0	2	2
メキシコ	1	0	1
ネパール	14	10	24
オランダ	2	0	2
パキスタン	3	1	4
ペルー	4	5	9
フィリピン	10	54	64
ルーマニア	0	1	1
ロシア	2	1	3
スペイン	3	1	4
シンガポール	0	2	2
タイ	1	29	30
英国	6	1	7
米国	15	4	19
ベトナム	0	2	2
アンティグア・バーブーダ	0	1	1

4 郵送請求処理件数

区 分	有料（件）	無料（件）	返戻（件）	合計件数 （件）	取扱件数 （件）
戸 籍 関 係 証 明	(7,689)	(4,625)	161 (諸証明関係含む)	161 (12,314)	12,475
住 民 票 関 係 証 明	(4,564)	(3,988)	433	433 (8,552)	8,985
外 国 人 登 録 関 係 証 明	(5)	(103)	0	0 (108)	108
諸証明関係（身分証明等）	(395)	(5)		(400)	400
合 計	(12,653)	(8,721)	594	594 (21,374)	21,968

（注）（ ）は「１．住民関係」及び「２．戸籍関係」の内数

5 自衛官募集事務

自衛隊三重地方連絡部伊勢募集事務所長から依頼を受け、隊員募集案内リーフレットの展示や郵送配布、懸垂幕掲示、広報いせを通じての広報など、新規隊員募集の事務補助を行った。

なお、市内から５名（陸上自衛隊４名、航空自衛隊１名）の入隊者があった。

○ 支所関係

1 戸籍関係手数料調定事務等

各支所との連絡調整のほか、支所で取り扱う戸籍関係手数料の調定を行った。

また、市役所各課の業務、自治会との連絡調整業務、資源回収ステーション業務、図書業務その他の受付業務等の多岐に渡る業務を行い、市街地周辺の住民の利便性とサービス向上を図った。

区 分	神社支所	大湊支所	浜郷支所	宮本支所	豊浜支所
戸 籍 手 数 料	(1,030) 580,200	(607) 340,150	(966) 525,100	(424) 220,000	(1,009) 573,150
住 民 基 本 台 帳 関 係 手 数 料	(1,546) 309,200	(885) 177,000	(1,929) 385,800	(977) 195,400	(1,374) 274,800
印鑑証明手数料	(1,289) 257,800	(815) 163,000	(1,770) 354,000	(992) 198,400	(1,654) 330,800
諸 証 明 手 数 料	(50) 10,000	(22) 4,400	(67) 13,400	(17) 3,400	(45) 9,000
外国人登録関係 証 明	(0) 0	(7) 1,400	(2) 400	(1) 200	(3) 600
合 計	(3,915) 1,157,200	(2,336) 685,950	(4,734) 1,278,700	(2,411) 617,400	(4,085) 1,188,350

区 分	北浜支所	城田支所	四郷支所	沼木支所	計
戸 籍 手 数 料	(970) 535,800	(772) 428,400	(594) 328,050	(286) 154,300	(6,658) 3,685,150
住 民 基 本 台 帳 関 係 手 数 料	(1,538) 307,600	(1,471) 294,200	(866) 173,200	(477) 95,400	(11,063) 2,212,600
印鑑証明手数料	(1,515) 303,000	(1,401) 280,200	(879) 175,800	(533) 106,600	(10,848) 2,169,600
諸 証 明 手 数 料	(28) 5,600	(41) 8,200	(40) 8,000	(15) 3,000	(325) 65,000
外国人登録関係 証 明	(1) 200	(10) 2,000	(2) 400	(0) 0	(26) 5,200
合 計	(4,052) 1,152,200	(3,695) 1,013,000	(2,381) 685,450	(1,311) 359,300	(28,920) 8,137,550

(注 1) 証明係関係「住民票関係の交付等の状況」及び「戸籍謄抄本交付等の状況」の内数。

(注 2) 上段は件数、下段は金額 (円)。

人 権 政 策 課

○ 人権施策推進事業

1 伊勢市人権施策推進協議会

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に関係官庁や市民団体等の代表26名で平成14年7月11日に設立した「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって、様々な人権問題の解決に向けた取組みを実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
23. 6. 2	総会	平成22年度事業報告、決算報告の承認 平成23年度事業計画（案）、予算（案）の承認 場所 市役所本庁舎4階会議室	
7. 12	幹事会	委員会への提出案件協議 場所 市役所本庁舎2-1会議室	
7. 19	委員会	人権尊重啓発ポスター募集事業、人権セミナー 街頭啓発について 場所 市役所東庁舎4-2会議室	
8. 1 ～12. 4	人権尊重啓発ポスター募集事業	市内小中学校児童生徒から570点の応募 市長賞9点、会長賞100点 11. 1～7まで伊勢図書館において展示 11. 9～17まで小俣図書館において展示 12. 4生涯学習センターいせトピアにおいて 表彰・展示	広報いせ8.1号 にて公募
9. 29	第1回 人権セミナー	「発達特性の世界」 講師 伊勢市教育研究所 臨床心理士 原田 華 氏 場所 ハートプラザみその	参加者33名
11. 18 ～12. 9	人権パネル展等	市役所1階ロビーにて人権パネル展を開催 生涯学習センターいせトピア及び市役所において懸垂幕を掲出 市役所本庁舎、各総合支所にのぼり旗の掲示	

11. 24 ～12. 9	人権週間催し 告知等	伊勢市ホームページへの掲載 i T V文字放送、行政チャンネル放送にて催し の告知	
12. 2	街頭啓発	12. 4～10の人権週間に合わせ、市民の人権尊重 の意識高揚を目的に、市内ショッピングセンター 等にて協議会委員による啓発物品配布等の啓発 活動を実施	参加者39名 配布数1,440個
12. 4	人権講演会	「100人の村 あなたもここに生きています」 講師 池田 香代子 氏 場所 生涯学習センターいせトピア	参加者200名
12. 9	第2回 人権セミナー	「今、子どもたちが危ない！ケータイの落とし 穴」 講師 明倫小学校校長 出口 晃 場所 生涯学習センターいせトピア	参加者32名
23. 1. 27	第3回 人権セミナー	「犯罪被害者の人権について」 講師 犯罪被害者自助グループ「緒あしす」 主宰 青木 聡子 氏 公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援 センター理事 増田 正人 氏 場所 ハートプラザみその	参加者31名
2. 24	幹事会	委員会への提出案件協議 場所 市役所本庁舎2-1会議室	
3. 22	第4回 人権セミナー	「部落問題を考えよう～気づきから行動へ」 講師 財団法人反差別・人権研究所みえ 研究員 田中 弓子 氏 場所 ハートプラザみその	参加者29名
3. 26	委員会	平成23年度事業報告及び決算見込 平成24年度事業計画（案）及び予算（案） 場所 市役所本庁舎4階会議室	
随 時	人権啓発冊子等 発行	人権ハンドブックN0.13（バリアフリーとユニバ ーサルデザイン）	1,000部作成

○ 人権啓発推進事業

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住みよい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

1 各種広報、啓発事業

広 報 啓 発 事 業	内 容	備 考
広報いせ人権シリーズ掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもらうことを目的に、様々な人権問題をテーマに取り上げ、市民の方々に人権について考えていただく機会とした。	毎号掲載
地域人権啓発紙の編集	市民館、教育集会所が中心となって作成する地域人権啓発紙への記事提供及び編集。広報いせ人権シリーズ同様、様々な人権問題をテーマに取り上げ、地域の方々に人権について考えていただく機会とした。	地域人権啓発紙 2紙 毎月発行
人権週間啓発パンフレットの作成	人権週間をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発パンフレットを作成し、人権尊重宣言都市啓発用シャープペンシルと合わせて、街頭啓発、関係機関窓口等で配布した。	パンフレット 3,500枚 シャープペンシル 3,500本
人権啓発パンフレット等の作成	市民の人権意識の高揚と人権を侵害する落書き行為などの予防、啓発のためパンフレットを作成した。	パンフレット 3,500枚

2 人権相談

市民を対象とした、様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行っている。

○ 隣保館運営事業

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や介護福祉講座等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財源内訳	
			県補助金	市費
隣保館 運営事業費	32,666,422 円	31,994,858 円	23,198,000 円	9,468,422 円

2 事業内容

事業区分		朝熊市民館		大久保市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
相談事業	人権相談	件 1	人 1	件 0	人 0	件 0	人 0	件 1	人 1
	職業相談	3	3	14	14	1	1	18	18
	教育相談	7	7	1	1	0	0	8	8
	福祉相談	9	9	7	7	2	1	18	17
	生活相談	34	35	28	28	39	40	101	103
	健康相談	2	2	0	0	0	0	2	2
	その他相談	80	81	17	18	4	4	101	103
講座	介護福祉講座	8	125	—	—	4	85	12	210

○ 非核・平和推進関係

1 非核・平和第 33 回空襲展の開催

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、平成 23 年 8 月 20 日・21 日に、ハートプラザみそのにおいて、非核・平和第 33 回空襲展実行委員会の一員として、空襲展を開催した。

当課の企画として、伊勢市にも戦争の惨禍があったことを再認識する企画として「市内戦跡めぐり」を実施した。

主な催し物・・・講演会、映画、すいとん汁試食コーナーなど

主な展示物・・・伊勢空襲の記録・写真、焼夷弾、戦時中の生活用品など

2 原爆被災写真展

非核・平和第33回空襲展を前に、原爆被爆の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の尊さを訴えるパネル展を7月19日から8月2日まで、市役所1階ロビーにて開催した。

3 非核平和都市宣言折り鶴

学校教育課を通じて市内各中学校の生徒代表による広島平和記念式典への参加にあたって、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。（12校×1,200枚）

また、市役所ロビーにおける原爆被災写真展、非核・平和第33回空襲展の折り鶴コーナーでも利用した。

4 日本非核宣言自治体協議会

非人道的核兵器の使用は人類と地球の破滅につながる恐れがあり、住民の生命と生活を守るとは自治体の責務であるとの考えから、全国・全世界に核兵器廃絶、恒久平和を呼びかけるほか、平和の尊さを訴えるという日本非核宣言自治体協議会の趣旨に賛同、加盟し、協議会を通して核実験を行う諸国への抗議行動や地雷廃絶キャンペーンを行った。

（非核宣言自治体数 1,534 自治体　うち協議会会員自治体数 271 自治体：平成 23 年 4 月現在）

○ 人権学習関係

市民が人権尊重の精神をもとに人権問題を正しく認識し、自らの課題としてその解決にさらに努められるよう広報啓発活動の積極的な推進に努めた。

1 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会の組織化

小学校区を単位として、人権教育推進のための協議会を組織し、自主的な啓発活動を進めている。

新たに、小俣・明野小学校区において設立し、結成団体数は 20 団体から 21 団体となった。各協議会は各町の自治会長（区長）、民生委員、人権擁護委員、小学校長などが委員となり、講演会、人権展、啓発紙の発行等の活動を行った。

2 第6回伊勢市人権教育をすすめる市民の集い

人権問題の正しい理解と認識を広めるため、平成23年7月26日、大沼えり子さん（作家）を講師に招き、いせトピアで開催し、350人の参加を得た。身近な人権をテーマにしたリーフレット vol.13 を発行した。

3 同和問題地域啓発推進事業

市内4地域（自治会）を指定し、推進委員を委嘱して、6回の合同研修を受けた後、推進委員がリーダーとなって各地域で啓発活動を2回行い、最後に全員で報告会を実施した。

合同研修は下記のとおり行った。

	開催日	内 容
第1回	23. 8. 4	事業概要説明 同和問題について懇談
第2回	9. 9	同和問題について学習（グループ討議） 講師を招いての同和問題学習 質疑応答
第3回	10. 6	同和問題について学習（グループ討議） 講師を招いての同和問題学習 質疑応答
第4回	10.22	フィールドワーク 懇談
第5回	10.31	分散会（グループ討議）
第6回	11.21	講師を招いての同和問題学習 質疑応答
第7回	12.10 ～18	各自治会での地域啓発活動（第1回目：詳細は一覧のとおり）
第8回	24. 1.14 ～22	各自治会での地域啓発活動（第2回目：詳細は一覧のとおり）
第9回	3.22	各地区から地元啓発（第7回・第8回）の報告 グループ別懇談 各推進委員からの感想

地域啓発活動は、次のとおり実施した。

自治会名	推進委員	開催日	内 容	参加人員
二見町溝口区	中本博助さん 森本保治さん 井瀬孝子さん	23. 12. 18	推進委員の活動報告と同和問題に関する懇談・講演会など	20 人
		24. 1. 15	〃	32
二見町荘区	西岡勝昭さん 加藤正彦さん 大西市郎さん	23. 12. 18	〃	36
		24. 1. 22	〃	32
御菌町新開区	西田和之さん 中北彰二さん 天白正文さん	23. 12. 10	〃	38
		24. 1. 14	〃	28
御菌町上條区	堀畑元保さん 西尾章さん 奥野好春さん	23. 12. 17	〃	17
		24. 1. 14	〃	11

4 伊勢市人権講演会

人権に対する正しい理解と認識を広めるため、平成 23 年 12 月 4 日、池田香代子さん（作家・翻訳家）を招き、いせトピアで開催し、約 200 人の参加を得た。世界の子どもを取り巻く状況をテーマにしたリーフレット vol. 14 を発行した。

○ 教育集会所活動

成人学習講座を次のとおり実施した。

集会所名	回数	延べ参加人員	活動内容
朝熊教育集会所	7回	181 人	部落問題、ハンセン病問題、障がい者問題等
黒瀬教育集会所	9	154	高齢者の人権、子どもの人権、障がい者の人権等、部落問題
小木教育集会所	6	187	高齢者の人権、人権問題、部落問題、障がい者問題、異文化理解（アイヌ民族の伝統・文化）等

環 境 課

○ 環境全般

1 「伊勢市環境基本計画」の進捗管理

環境に関わる各計画の最上位計画にあたる「伊勢市環境基本計画」にて掲げた“めざす姿”の実現のため、施策の取組状況や8つの重点事業の実績などの進捗状況について、伊勢市環境報告書を作成し、伊勢市環境審議会へ報告し、意見をいただいた。

【環境審議会】

伊勢市環境基本条例第11条の規定に基づき設置

構 成：公共的団体等に所属する者でその団体の推薦を得た者10人

学識経験を有する者1人

その他市長が必要と認める者8人

会 長：朴恵淑（三重大学理事・副学長）

副会長：深草正博（皇學館大学教育学部長）

2 環境管理システムの推進

平成20年度からISO14001の規格によらない環境管理システムを運用している。全庁的に取り組む施策と本庁、各総合支所にて取り組む事務活動に大別し、事務活動については、事務用紙使用量、可燃ごみ排出量、電力使用量、公用車燃料使用量の削減に取り組み、毎月、グループウェア掲示板において取り組み実績を周知し、意識啓発に努めた。

事務用紙使用量、電力使用量、公用車燃料使用量、については、年度当初の目標を達成したが、可燃ごみ排出量については、達成できなかった。特に、東日本大震災の影響による全国的な電力の供給不足によって節電対策やエネルギー消費の抑制が求められたことから、クールビズを例年より前後1箇月間延長する等、率先して省エネルギーに努めた結果、夏季の電力使用量を大幅に削減することができた。

また、皇學館大学との包括連携協定による「環境ミーティング～大学生と語る伊勢の環境～」を開催し、学生と様々な意見交換を行った。

3 環境啓発・環境教育の推進

（1）環境フェア開催事業

生活排水対策やごみ減量化対策等を市民に周知し、また、いろいろな体験を通して市民の環境意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得るため、平成23年10月9日（日）に、三重県営サンアリーナ（メインアリーナ及び屋外広場）において、伊勢市まちづくり市民会議環境分科会と市の協働で環境フェアを開催した。

なお、伊勢志摩労働者福祉協議会主催の「2011福祉フェスティバル 勤労者ゆとりT・I・M・E y o u ・ ゆ う ・ 遊 i n g」と同時開催。

（2）伊勢市まちづくり市民会議環境分科会

伊勢市まちづくり市民会議環境分科会において、市民との協働により、環境保全の取組を行った。

平成 23 年度実施事業

実施日	実施事業名	概要	備考
23. 6. 5	伊勢市駅前 ごみゼロ早朝清掃	「ごみゼロの日」にちなみ、まちの美化の意識啓発のため、伊勢市駅周辺を早朝清掃した。	参加者 約 400 人
23. 6. 10	環境出前講座	環境意識の啓発のため、環境分科会参加者が講師となり、小中学校へ出向いて講義等をする環境出前講座を実施した。 (テーマ) 伊勢の川 伊勢の空気と山 伊勢のごみ 節電	受講者 明倫小学校全校児童 398 人
23. 7. 3	勢田川七夕大そうじ	勢田川の浄化と、河川美化の意識啓発のため、勢田川清掃を実施した。	参加者 約 3,000 人
23. 8. 7	こどもわくわく 体験フェスティバル	環境意識を高めてもらうために、体験ブース等を出展した。	参加者 約 1,300 人
23. 8. 9	水生生物による 水質調査	水環境に親しむきっかけづくり及び水質浄化意識の啓発のため、小学校児童らと宮川上・下流ごとの水生生物の生息状況により、水質を調べた。	市内小学校児童 参加人数 9 人
23.10. 9	環境フェア	環境意識の啓発のため、体験ブース等を出展した。	来場者約 20,000 人
23.10. 9	ごみゼロポスター コンクール表彰式	家庭でゴミ問題について話し合うきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3Rの推進」「ポイ捨て・不法投棄の防止」などをテーマに作品募集を行ない、環境フェアにおいて受賞者への表彰式を開催した。	応募総数 942 作品 受賞者 計 66 人
23.10.11 24. 3. 7	勢田川浄化実験事業	勢田川の浄化を目的に、微生物資材をヘドロに投入し、ヘドロ浄化効果を経過観察した。	参加者 23.10.11 30 人 24. 3. 7 137 人
23.12.18	啓発活動	ごみの減量化・資源化の啓発のため、市内 3 箇所で啓発ティッシュを配布した。	配布場所 ・うらのはし商店街 ・パロー ・おばたベリー
24. 2.18 24. 2.19	エコクッキング	生ゴミを出さない、または、汚れた生活排水を流さない調理方法について実習した。	参加者 24. 2.18 19 人 24. 2.19 18 人
—	エコドライブ マグネットシート 作成	エコドライブ周知啓発のため、エコドライブマグネットシートを作成し、会員の自家用車用に掲示した。	10 枚作成

○ 地球温暖化防止対策の推進

1 伊勢市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）の策定

庁内の事業活動における地球温暖化防止対策の方針として、「伊勢市地球温暖化防止実行計画」を平成 20 年度に策定し、取組を進めているところであるが、市民・事業所等を含めた伊勢市全域での地球温暖化防止を推進するため、「伊勢市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）」の策定を環境審議会へ平成 23 年 5 月 9 日に諮問し、審議を行った。（平成 24 年度継続審議）

なお、「伊勢市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）」の一部として「エネルギーの地産地消」を先行審議し、平成 23 年 10 月 19 日に答申をいただいた。

2 住宅用太陽光発電システム普及推進事業

家庭でも比較的取り組みやすい太陽光発電システム設備の設置を促進するため、設置者に対する補助を行った。当初予算枠は 100 件であったが、再生可能エネルギーの導入に関する市民の意識の高まりを受け、6 月補正で 200 件分、12 月補正で 120 件分を追加し、合計 420 件の申請を受け付けた。

なお、平成 23 年度中に工事着手したが、年度内に工事が完了しなかった 23 件については、繰越し対応とした。

補助金額	交付件数	交付額計
円/件 60,000	件 397	円 23,820,000

3 エコドライブ講習会の実施

地球温暖化対策として、自動車から排出される二酸化炭素を減らすことが課題であり、そのためには、クリーンエネルギー自動車の普及といった自動車本体に関する対策とともに、自動車の使用に関する対策も重要であることから、燃費向上や安全運転の効果が期待できるエコドライブの普及を図るため、講習会を開催した。

（講習会開催回数 2 回、参加人数 24 名）

4 環境委員会「生ゴミ・エネルギー」分科会への参加

平成 19 年度策定した「伊勢市地域新エネルギービジョン」により重点事業とされた「バイオマス（生ゴミ）活用事業」に関連するものとして、平成 21 年度から伊勢商工会議所にて生ごみをエネルギー原料として処理する方法が検討されており、環境課職員も研究会の一員として参加、事業化の検討をしている。

平成 23 年度は昨年度に続き、事業化における課題の整理を行うとともに、想定される事業形態の検討を行った。

5 エネルギー教育

事業者においては、事業者自らの企画による環境教育等が社会貢献活動として実践されており、ノウハウが蓄積されていることから、各事業者が有する人材・学習教材となりうる資材の提供等の協力をいただくことで学習環境の充実を図るため、平成 23 年 9 月 30 日、京セラ株式会社三重伊勢工場及び中部電力株式会社と環境教育に関する協定書を締結した。

【平成 23 年度授業実績】

- ・京セラ株式会社三重伊勢工場（12 校、755 名）
- ・中部電力株式会社（3 校、267 名）

6 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
岩 渕 1 丁 目 地 内 ほ か	(注) 小型風力発電撤去 等工事	小型風力発電撤 去工 4 基 ソーラーパネル 設置 1 箇所	円 1,291,500	23. 12. 20	24. 1. 27

(注) 監理課施行

○ 生活排水対策の推進

1 合併処理浄化槽設置の促進

(1) 浄化槽設置整備事業補助金

生活排水対策の推進を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し補助を行った。公共下水道事業認可区域については、平成 13 年度より市単独補助を行っている。

区分		下水道認可区域外			下水道認可区域内			計	
種 類	人槽	補助金 限度額	交付 基数	交付額計	補助金 限度額	交付 基数	交付額計	交付 基数	交付額計
一 般	5	千円/件 332	基 106	千円 35,192	千円/件 110	基 21	千円 2,310	基 127	千円 37,502
	7	414	65	26,910	138	13	1,794	78	28,704
	10	548	14	7,672	182	4	728	18	8,400
高 度	5	444	130	57,720	—	—	—	130	57,720
	7	486	70	34,020	—	—	—	70	34,020
	10	576	7	4,032	—	—	—	7	4,032
	～50	576	3	1,728	—	—	—	3	1,728
合計		—	395	167,274	—	38	4,832	433	172,106

2 生活排水対策用品配布事業

家庭でできる生活排水対策推進のため、1mm 目三角コーナーを希望者に販売（300 円）し、公共用水域の汚濁負荷量の軽減と生活排水の意識啓発を行った（57 個）。

○ 公害対策事業

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の実態を把握するため、県環境森林部により厚生中学校に設置（昭和 63 年 3 月から測定開始）されている大気汚染常時監視測定局で二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等の常時自動測定調査を行った。

2 水質調査

河川や海域の水質汚濁の防止を図るとともに汚濁状態を把握するため、河川や海域の水質を調査した。

(1) 平成 23 年度調査実施状況

区分	河川水質 (12 河川)	海域水質	幹線排水路 水 質
地点	32	7	4
項目	19	6	10
回数	4～12	4	4

(2) 河川 BOD 経年変化

年 度	18	19	20	21	22	23	環境基準
宇治橋 (五十鈴川)	mg/ℓ 0.6	mg/ℓ 0.9	mg/ℓ 0.7	mg/ℓ 0.5	mg/ℓ 0.5	mg/ℓ ▲1.6	1 mg/ℓ 以下
堀割橋 (五十鈴川)	0.8	1.1	0.8	0.8	0.6	1.7	2 mg/ℓ 以下
勢田大橋 (勢田川)	▲6.7	4.1	4.1	2.9	3.1	3.6	5 mg/ℓ 以下
度会橋 (宮川)	0.7	0.6	0.6	0.5	0.7	0.5	1 mg/ℓ 以下
大野橋 (外城田川)	1.5	2.1	1.6	1.4	2.0	2.2	3 mg/ℓ 以下
豊浜橋 (外城田川)	1.6	1.5	1.6	1.4	1.4	2.7	5 mg/ℓ 以下
有滝橋 (江川)	0.9	0.9	0.8	0.6	0.6	1.9	—
大堀川橋 (大堀川)	1.5	1.5	1.6	1.3	1.2	2.1	—
野垣外橋 (汁谷川)	0.8	1.6	1.1	1.1	1.4	1.7	—
鮫川 (上流)	—	—	—	—	21.2	13.0	—
鮫川 (下流)	—	—	—	—	21.4	4.8	—

(注) ▲は、環境基準オーバーを表す。数値は 75% 値。

(3) 海域 COD 経年変化

年 度	18	19	20	21	22	23	環境基準
東 大 淀 沖	mg/ℓ 0.7	mg/ℓ 1.2	mg/ℓ 1.1	mg/ℓ 1.2	mg/ℓ 1.9	mg/ℓ 0.7	2 mg/ℓ 以下
村 松 沖	0.8	0.8	1.2	1.3	1.6	0.7	3 mg/ℓ 以下
豊 北 漁 港	0.9	1.0	1.1	1.4	1.7	0.5 未満	3 mg/ℓ 以下
大 湊 沖	0.2	0.7	1.1	1.6	1.3	0.5 未満	3 mg/ℓ 以下
宇 治 山 田 港	0.8	0.8	0.7	1.1	1.6	0.5 未満	3 mg/ℓ 以下
宇 治 山 田 港 沖	0.5	0.6	1.0	1.0	1.8	0.5 未満	3 mg/ℓ 以下
笹 笛 川 地 先	—	0.9	1.4	1.5	1.6	0.5 未満	3 mg/ℓ 以下

(注) 数値は 75% 値

3 騒音・振動調査

伊勢市内における騒音及び振動の現状を把握し、環境の保全を図るため環境騒音・道路交通振動の測定を実施した。

平成 23 年度調査実施状況については以下のとおりである。

区分	一般環境 騒音	道路交通 騒音	道路交通 振動
地 点 数	5	3	1
基準適合 地 点	5/5	0/3	1/1

4 悪臭

市内特定地点における悪臭の現状を把握し、公害防止を図るため臭気測定を実施した。

平成 23 年度は 2 箇所 8 地点で測定した。臭気指数はすべて 10 未満であり、参考基準値の臭気指数 15 を下回った結果になった。

5 公害苦情等処理状況

相隣関係的な苦情が多く、平成 23 年度の苦情処理結果は、大気汚染 21 件、水質汚濁 6 件、騒音 19 件、悪臭 17 件、廃棄物投棄 22 件、その他 17 件、合計 102 件であった。

6 公害関係法令に基づく各種届出受理業務

生活環境を保全し、市民生活の健康保護のため、公害関係法令に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また特定建設作業に対する各種届出受理業務を行った。

特定施設に関する設置等の届出については、以下のとおりである。

区分		設置届出数	廃止届出数
大気汚染防止法		件 2	件 4
水質汚濁防止法		5	5
騒音規制法		7	0
振動規制法		1	0
三重県生活環境 の保全に関する 条例関係	ばい煙	3	1
	粉じん	1	0
	騒音	6	1
	振動	1	0
	揚水設備	1	0
ダイオキシン類対策特別措置法		0	0
計		27	11

特定建設作業に関する届出については、以下のとおりである。

区分	法律	条例
騒音	件 37	件 8
振動	24	2
計	61	10

7 調査井戸の撤去工事

昭和 56 年に旧名古屋通商産業局が地下水位観測のために設置した観測井戸が 2 箇所あった。調査期間は 5 年であったため、昭和 62 年に市に譲与された。地下水保全対策上、一定の役割を終えたため、現在の所管である中部経済産業局と協議した結果、撤去することとした。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
港 中 学 校 城田中学校	調査井撤去工事	港調査井 フェンス撤去・処分 1 式 井戸処理（上部切断・埋め戻し）1 式 小屋撤去・処分 1 式 ブロック積み 1 式 城田調査井 フェンス撤去・処分 1 式 井戸処理（上部切断・埋め戻し）1 式 小屋撤去・処分 1 式	円 294,000	23. 11. 21	23. 12. 21

○ 衛生・美化関係

1 防疫

生活環境の保全を図るため、希望自治会に煙霧消毒機械貸出（14 台保有）を行った。また、希望する一般市民にハチ防護服貸出を行った。

種 別	区 分	対 象	件数	薬剤量
煙霧消毒 （油剤）	機械貸出	自治会	件 32	ℓ 1,096
	市職員実施	公共施設等	6	27
ハチ駆除	ハチ防護服貸出	一般市民	57	—

2 伊勢公衆浴場組合に対する支援

市民の公衆衛生の確保を図るため、公衆浴場組合補助金に替わる支援策として、母の日、父の日、敬老の日における集客用の物品提供を行った。（支援先：8 公衆浴場）

区分	物品	購入額
母の日（5 月 8 日）	トイレットペーパー 720 個	円
	ボックスティッシュ 600 個	69,300
父の日（6 月 19 日）	トイレットペーパー 720 個	69,300
	ボックスティッシュ 600 個	
敬老の日（9 月 19 日）	トイレットペーパー 600 個	68,512
	ボックスティッシュ 750 個	
計	—	207,112

○ 墓地関係

1 市営墓地管理委託業務

市が管理する大世古墓地、大湊墓地及び小俣若山墓地について、管理及び清掃業務委託を行い、墓地環境の整備を図った。

墓 地 名 等	委 託 先	委 託 料
大 世 古 墓 地 管 理	大世古 3 丁目 北村日出子	円 156,000
大湊墓地管理及び清掃	大湊町老人クラブ寿会	420,000
小俣若山墓地管理	(社)伊勢市シルバー人材センター	393,546
墓地管理システム 機器保守点検委託	(株)松阪電子計算センター	176,400
墓地管理システム 改修業務委託	(株)松阪電子計算センター	51,975
計	—	1,197,921

2 市営墓地管理賃借業務

市が管理する大世古墓地、大湊墓地及び小俣若山墓地について、管理システム及び駐車場を賃借し、墓地管理を行った。また、墓石の管理のため、やすらぎ墓地の区画を使用した。

墓 地 名 等	使用及び賃借先	使用料及び 賃 借 料
墓地管理システム賃借料	(株)松阪電子計算センター	円 75,390
墓地駐車場賃借料 (小俣若山墓地)	(有)西井建設	240,000
やすらぎ墓地区画使用料	(財)伊勢市霊園公社	325,260
計	—	640,650

3 市営墓地新規貸付区画

平成 22 年度から新規貸付を開始した大世古墓地を含め、返還された空き区画の有効活用を図った。

墓 地 名	平成 23 年度 貸付区画数	残区画数
大世古墓地	11	18
大湊墓地	3	25
小俣若山墓地	14	9
計	28	52

※残区画数：平成 23 年 3 月末時点

4 墓地整備事業補助金

共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し費用の一部を補助した。

墓 地 名	事 業 費	補 助 金	摘 要
西 之 坂 共 同 墓 地	円 656,000	円 437,000	墓地内参道の改修
黒 瀬 町 中 崎 共 同 墓 地	831,600	554,000	墓地内の大木の伐採
茶 屋 霊 園 墓 地	70,770	47,000	墓地内排水の改修
栗 野 墓 地	787,500	525,000	墓地斎場の改修
鹿 海 町 墓 地	651,000	434,000	墓地内排水の改修
新 高 向 共 同 墓 地	345,860	230,000	墓地内排水の改修
塚 山 墓 地	3,675,000	2,450,000	墓地内参道の改修
朝 熊 稲 葉 岡 共 同 墓 地	2,363,226	1,575,000	墓地内焼香場の屋根改修
円 座 町 墓 地	5,880,000	3,000,000	墓地内参道の改修他
有 滝 墓 地	1,547,070	1,031,000	墓地内給水整備
王 中 島 墓 地	317,940	211,000	墓地内参道の改修他
朝 熊 町 墓 地	1,050,000	700,000	墓地内参道手摺の整備
土 路 ・ 西 条 共 同 墓 地	331,800	221,000	墓地内給水設備の改修
竹 ケ 鼻 墓 地	41,580	27,000	墓地内給水整備
上 地 墓 地	883,700	589,000	墓地入口の手摺の設置他
山田原・溝口区共同墓地	944,550	629,000	墓地ブロック塀、ごみ箱の改修
東 大 淀 墓 地	525,000	350,000	駐車場の改修
浦 口 町 墓 地	483,000	322,000	墓地内参道の改修
中 須 町 墓 地	130,620	87,000	斎場の壁面の改修等
五 十 鈴 川 霊 園	503,625	335,000	焼香場の整備
灰 之 木 原 墓 地	1,401,341	934,000	通路、階段の改修工事及び通路の擁壁工事
中久保・湯田野組共同墓地	99,750	66,000	線香点火場の改修
一 誉 坊 墓 地	4,888,947	3,000,000	樹木の伐採、参道及び排水の整備
丸 山 墓 地	2,331,000	1,554,000	ブロック積の設置
松 下 墓 地	1,125,915	750,000	通路の整備、道具類保管庫の設置
西 区 墓 地	29,715	19,000	墓地配分図の設置
馬 瀬 町 墓 地	609,000	406,000	樹木の撤去、フェンスの設置
計	32,505,509	20,483,000	

5 市営墓地改修事業

市が管理する大世古墓地、大湊墓地及び小俣若山墓地について、国の交付金を活用し、改修工事を行った。（平成 22 年度からの繰越事業）

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小 俣 町 元 町 内 地	市営小俣若山墓地 整備工事	水汲み場屋根の 施行及び修繕	円 262,500	23. 5. 13	23. 6. 17

大世古 3 丁目 地 内	(注 1) (注 2) 市営大世古墓地 整備工事	舗装工 3,034 m ² 水栓設置工 1 式 排水工 1 式 防護柵設置 65m	円 23,944,200	23. 6. 10	23. 10. 28
大湊町地内	市営大湊墓地ポン プ修繕工事	ポンプ修繕 1 式	81,990	23. 9. 8	23. 9. 8
小俣町元町 地 内	市営小俣若山墓地 通路修繕工事	コンクリート工 1 式	99,750	24. 2. 27	24. 2. 27
大世古 3 丁目 地 内	市営大世古墓地 フェンス整備工事	フェンス工 9.6m	492,450	24. 3. 12	24. 3. 28
計	5 件	—	24,880,890	—	—

(注 1) 維持課施行

(注 2) 平成 22 年度から繰越

○ 犬・猫関係

1 狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づく畜犬登録及び狂犬病予防注射を実施している。飼い犬管理システムによる情報管理を行い、平成 24 年 3 月 31 日現在の登録件数は 8,945 頭の登録がある。なお、平成 23 年度の新規登録件数は 545 頭、狂犬病予防注射件数 5,659 頭（うち獣医師等による接種頭数 3,758 頭）であった。

2 犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬や猫の適正飼育を図るため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区 分	犬 雄	犬 雌	猫 雄	猫 雌	計
助成額	3,000 円/件	4,000 円/件	2,500 円/件	3,500 円/件	—
交付件数	75 件	62 件	158 件	224 件	519 件
交付額計	225,000 円	248,000 円	395,000 円	784,000 円	1,652,000 円

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 1 市 3 町で構成する伊勢広域環境組合で、し尿等処理、火葬業務を衛生的、効率的に行った。

1 平成 23 年度分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分			備 考
	し 尿	斎 場	計	
共 通 経 費	千円 3,344	千円 641	千円 3,985	平等割 10% 加入事務数割 90%
運 営 経 費	199,024	38,633	237,657	実績割 100%
建 設 経 費	21,509	3,998	25,507	平等割 10%、人口割 90%
公 債 費	13,558	—	13,558	元利補給金
子 ども 手 当 金 特 例 交 付	143	151	294	
合 計	237,578	43,423	281,001	

2 平成 23 年度クリーンセンター し尿・浄化槽汚泥投入量及び処分量

月分	伊 勢 市	他 町	計
4	0 4,108,880	0 777,520	0 4,886,400
5	4,083,840	830,710	4,914,550
6	4,552,790	1,013,000	5,565,790
7	3,974,680	950,020	4,924,700
8	3,966,850	852,540	4,819,390
9	3,548,040	788,580	4,336,620
10	4,194,030	895,840	5,089,870
11	3,866,080	868,690	4,734,770
12	4,311,320	893,730	5,205,050
1	3,028,450	711,340	3,739,790
2	3,919,390	905,840	4,825,230
3	4,887,750	1,019,640	5,907,390
合計	48,442,100	10,507,450	58,949,550

3 年度別クリーンセンター処理実績の推移

区 分	21 年度	22 年度	23 年度
伊勢市	K0 52,738	K0 51,259	K0 48,442
他 町	11,655	10,157	10,507
計	64,393	61,416	58,949

※市内し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数 10 業者、許可車両台数 27 台

4 平成 23 年度斎場利用状況

区 分	伊勢市	他町	管外	計
12 歳以上の者	件 1,452	件 469	件 78	件 1,999
12 歳未満の者	3	1	0	4
死 産 児	15	7	5	27
合 計	1,470	477	83	2,030
胞衣汚物	28	0	0	28
霊安室利用	5	2	0	7

5 年度別斎場利用実績の推移（胞衣汚物及び霊安室利用を除く。）

区 分	21 年度	22 年度	23 年度
伊勢市	件 1,289	件 1,406	件 1,470
他 町	456	469	477
管 外	76	75	83
計	1,821	1,950	2,030

清 掃 課

○ ごみゼロ推進関係

1 「伊勢市ごみ処理基本計画」の推進

ごみ処理に係る施策方針などについてまとめた「伊勢市ごみ処理基本計画（平成 22 年 3 月）」の推進について、伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第 8 条第 1 項の規定に基づき設置された、伊勢市廃棄物減量等推進審議会にて、審議を行った。

伊勢市廃棄物減量等推進審議会委員 会長：中松豊（皇學館大学准教授）、副会長：宮岡邦任（三重大学准教授）、その他委員：市民の代表 2 人、事業者等の代表 4 人、地域住民組織の代表 3 人、再生資源事業者の代表 2 人、関係行政機関の職員 1 人。

2 ごみの適正処理

(1) ごみ排出量及び処理経費

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去 5 年間のごみ排出量及び過去 4 年間の処理経費の推移は次のとおりであった。

①ごみ排出量の推移

年 度	19 年度	20 年度	対前年度増減	21 年度	対前年度増減	22 年度	対前年度増減	23 年度	対前年度増減
燃えるごみ	44,655 ^t	44,594 ^t	△0.1 [%]	44,015 ^t	△1.3 [%]	42,426 ^t	△3.6 [%]	42,814 ^t	0.9 [%]
粗大ごみ	2,080	1,988	△4.4	1,618	△18.6	1,459	△9.8	1,466	0.5
小 計	46,735	46,582	△0.3	45,633	△2.0	43,885	△3.8	44,280	0.9
資 源 物	7,720	6,977	△9.6	6,608	△5.3	6,303	△4.6	6,187	△1.8
缶・金属類	1,310	1,335	1.9	1,389	4.0	1,166	△16.1	1,211	3.9
投棄場搬入量	986	888	△9.9	955	7.5	933	△2.3	967	3.6
合 計	56,751	55,782	△1.7	54,585	△2.1	52,287	△4.2	52,645	0.7

（注 1）対前年度増減（％）＝（当該年度－前年度）／前年度×100

（注 2）上表の「資源物」に「缶・金属類」は含まない。

②ごみの各平均排出量

年 度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度
各 年 度 末 人 口 (人)	135,507	134,870	134,049	133,527	132,899
各 年 度 末 世 帯 数 (世帯)	52,295	53,255	53,406	53,690	53,812
総 ご み 排 出 量 (t)	56,751	55,782	54,585	52,287	52,645
1 日 平 均 排 出 量 (t/日)	155.48	152.83	149.54	143.25	144.23
1 日 1 人 平 均 排 出 量 (g/人・日)	1,147.4	1,133.1	1,115.6	1,072.8	1,085.3
1 日 1 世 帯 平 均 排 出 量 (g/世帯・日)	2,973.2	2,869.7	2,800.2	2,668.1	2,680.3

(注) 各年度末人口・世帯数は町別統計（住民基本台帳と外国人登録）を引用。

③処理経費の推移

年 度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度
処 理 経 費	円 1,615,583,000	円 1,741,906,000	円 1,796,480,000	円 1,517,192,000
ごみ1t当りの経費	28,962	31,912	34,358	28,819
1 人 当 り の 経 費	11,979	12,995	13,454	11,416
1 世 帯 当 り の 経 費	30,337	32,616	33,460	28,194

(注) 処理経費は、毎年度環境省が実施している一般廃棄物処理事業実態調査で報告した数値。

(人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を合算したもの。)

(2) 資源物の売却及び委託量及び売却額

市内に設置した資源ステーション・資源拠点ステーション等で資源物の分別収集を行い、伊勢広域環境組合、(有) いせ梅田、(株) 幸伸等の中間処理施設を経由し、ごみの資源化を図った。また、過去3年間の売却及び委託量その他の推移は、次のとおりであった。

①資源びん

年 度	売却及び委託量 及び売却額	無 色	茶 色	その他の色	計
21 年度	売却及び委託量 (kg)	471,540	409,390	158,660	1,039,590
	売却額 (円)	495,117	214,930	△189,757	520,290
22 年度	売却及び委託量 (kg)	505,490	398,740	160,100	1,064,330
	売却額 (円)	530,765	209,339	△197,724	542,380
23 年度	売却及び委託量 (kg)	515,290	383,380	146,030	1,044,700
	売却額 (円)	541,055	201,275	△129,967	612,363

(注) 売却額△表示は、委託単価(逆有償)を示す。また、回収量には、リサイクルプラザへの直接持込分も含む。

②紙類等

年度	売却量 及び 売却額	新 聞	雑誌類	段ボール	紙パック		布・衣類	計
					(1ℓ)	(200ml)		
21 年度	売却量 (kg)	1,156,840	1,611,070	844,620	30,190	70	152,670	3,795,460
	売却額 (円)	4,853,032	3,627,690	2,816,914	194,003	82	161,112	11,652,833
22 年度	売却量 (kg)	1,122,930	1,332,770	750,950	27,690	0	182,740	3,417,080
	売却額 (円)	7,431,156	9,286,664	5,561,740	258,383	0	285,385	22,823,328
23 年度	売却量 (kg)	1,054,820	1,293,930	726,950	25,670	20	191,460	3,292,850
	売却額 (円)	8,438,560	9,057,510	6,110,890	287,175	60	389,885	24,284,080

③ペットボトル

年 度	売却量	売却額	売 却 先
21 年度	kg 327,170	円 2,518,577	(有) ジェイピー化工 (有) シーピーアール
22 年度	324,320	10,573,648	(有) ジェイピー化工 (株) クリンテック
23 年度	341,015	25,110,823	(株) クリンテック
計	992,505	38,203,048	—

④プラスチック製容器包装

年 度	委託量	委託料	委 託 先
21 年度	kg 974,870	円 3,202,448	(有) 山川商事
22 年度	988,080	1,576,976	三重中央開発 (株)
23 年度	959,150	498,758	(株) 斉藤商店 (有) 山川商事
計	2,922,100	5,278,182	—

⑤ガラス・くずびん類

年 度	委託量	委託料	委 託 先
21 年度	kg 138,830	円 1,851,298	トーエイ (株)
22 年度	146,430	1,845,018	(株) ヤマムラ
23 年度	148,380	1,821,216	トーエイ (株)
計	433,640	5,517,532	—

(注) ガラス類とはガラス製の食器・板ガラス・割れた資源びん(資源びんを除く)のこと。

⑥陶磁器類

年 度	委託量	委託料	委 託 先
21 年度	kg 210,160	円 4,411,048	トーエイ（株）
22 年度	255,870	5,077,740	（株）ヤマムラ
23 年度	287,440	5,553,341	（株）ヤマムラ
計	753,470	15,042,129	—

⑦資源化率の推移

年 度	21 年度	22 年度	23 年度
資源化率（％）	18.70	18.68	18.40

（注）資源化率（％）＝（再生資源回収団体の資源回収量＋市の資源回収量）／（再生資源回収団体の資源回収量＋ごみ総排出量）×100

市の資源回収量＝（市で回収した資源物量）＋（粗大ごみ処理施設で選別した鉄・アルミ回収量）

3 3 R の推進

（1）マイバッグ持参・レジ袋有料化の取り組み

地球温暖化防止と循環型社会構築を目指し、市民・事業者・行政が連携・協力して、マイバッグ持参運動を推進するためにレジ袋有料化の取り組みを行った。また、そのレジ袋の収益金は、環境活動助成金として環境活動を行う団体に交付し環境活動に役立てた。

①平成 22 年度に「ええやんか！環境活動助成金」交付決定団体の活動内容紹介

平成 23 年 10 月 9 日（日）に開催された「環境フェア」において助成金交付決定団体（9 団体）の活動紹介を行った。

（2）指定袋制度運営事業

ごみの減量及び資源化を推進するため、燃えるごみの指定ごみ袋制を実施した。指定ごみ袋への広告掲載を実施し、財源の確保に努めた。（広告掲載箇所数 12 箇所、収入金額 640,000 円）

①種 類 3 種類（大袋 45 ℓ、中袋 30 ℓ、小袋 15 ℓ）1 袋：10 枚入
高密度ポリエチレン製、半透明

②販売方法 「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売
（平成 24 年 3 月 31 日現在 販売店登録数 323 店舗）

③販売価格 希望小売価格制度にて販売
市の提示する希望小売価格（大袋 75 円、中袋 54 円、小袋 37 円：税別）

④委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 市 内	伊勢市指定 ごみ袋納入 業務委託	伊勢市指定ごみ袋の 納入、保管、配送、 受け払い、配送量報 告及び数量管理報告 業務	大袋 59.6 円 ×1,150,000 袋 中袋 41.8 円 × 355,000 袋 小袋 28.6 円 × 167,500 袋 計 92,577,981 円	22. 1.27	24. 3.31

(注) 2 箇年の単価契約

(3) ごみ減量化容器設置補助金事業

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した市民・事業者に対し補助金を交付した。

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
21 年度	件 137	基 139	円 3,469,500
22 年度	126	135	2,956,700
23 年度	95	121	1,788,400
計	358	395	8,214,600

(4) 廃食用油回収事業

地球温暖化防止と循環型社会の形成のため、ごみの減量化、資源化の推進事業として、市内全域を対象に廃食用油を回収し、再生利用を行った。

①廃食用油回収容器設置場所（市民対象） 39 箇所（拠点ステーション・公民館ほか）

②公共施設 44 箇所（小・中学校、中学校給食共同調理場ほか）

③回収状況

年 度	廃食用油回収量
21 年度	ℓ 21,978
22 年度	26,926
23 年度	31,643
計	80,547

(5) エコキャップ推進運動

市では、ペットボトルのキャップをプラスチック製容器包装として分別回収しているが、市民がエコキャップ運動に協力していただけるよう、平成 22 年 10 月 1 日から市内の資源拠点ステーション、各総合支所生活福祉課窓口、各支所窓口、市役所環境課窓口エコキャップ回収容器を設置した。

実績

年 度	回 収 期 間	重さ	個数（約）	ポリオワクチンで換算
22 年度	平成 22 年 10 月 1 日～ 平成 23 年 3 月 23 日分まで	kg 1,395	個 558,000	人分 697.5
23 年度	平成 23 年 3 月 24 日～ 平成 24 年 3 月 28 日分まで	4,819	1,927,600	2,409.5
計	—	6,214	2,485,600	3,107

4 排出環境の整備

(1) 資源ステーション設置事業

合併調整項目である「資源ステーションの集約・拡充」を推進するに当たり、杜の宮資源ステーションを設置した。

小俣資源ステーションについては、地権者からの申し出により小俣資源ステーションを解体し、撤去したプレハブ倉庫 1 棟を杜の宮資源ステーションに設置した。

施工場所	工事名	工事概要	金 額	着 工	完 工
小 俣 町 元 町 地 内	小俣資源ステーション解体工事	資源置場解体工事 一式 基礎解体工事 一式	円 367,500	23. 4. 15	23. 4. 22
通 町 地 内 ほ か	杜の宮資源ステーション設置工事	基礎コンクリート打設 一式 プレハブ倉庫 3 棟	1,081,500	23. 12. 6	24. 2. 3
計	2 件	—	1,449,000	—	—

(2) 廃棄物集積所設置補助事業

燃えるごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保すること目的として、廃棄物集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。（以下は、過去 3 年間の推移。）

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
21 年度	件 87	基 300	円 61,464,806
22 年度	202	1,277	260,204,581
23 年度	98	354	54,471,658
計	387	1,931	376,141,045

（注）利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

(3) 廃棄物投棄場管理事業

①搬入状況

市民自己搬入分と公共関係搬入分として下記の搬入状況となった。

区 分	伊勢		小俣		計	
	車数	搬入量	車数	搬入量	車数	搬入量
市民自己搬入分	車 205	kg 136,770	車 162	kg 65,700	車 367	kg 202,470
公共関係搬入分	729	732,706	55	31,700	784	764,406
計	934	869,476	217	97,400	1,151	966,876

②廃棄物投棄場使用（搬入）許可件数

使用申請に伴う許可件数と使用手数料は下記のとおりとなった。

区 分	伊勢		小俣		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
許可証交付	件 130	円 205,400	件 126	円 179,200	件 156	円 384,600

③委託関係

埋立廃棄物の減量・資源化を推進、廃棄物投棄場を適正管理するために下記の事業を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金 額	着 手	完 了
朝 熊 町 地 内 ほ か	伊勢市廃棄物投棄場の地下水等水質調査	6箇所	円 976,500	23.12. 7	24. 2.24
朝 熊 町 地 内	ガレキ類再資源化業務委託	引取量 ガレキ類 217.44t 瓦類 23.65t	1,083,628	23. 8.24	24. 3. 5
計	2 件	—	2,060,128	—	—

5 啓発・教育の推進

(1) 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして 169 自治会より推薦された 341 名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。

(2) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。(以下は、過去3年間の推移。)

年度	登録 団体数	交付 団体数	回収量					奨励金 交付額
			紙類	布類	缶類	計	びん	
21年度	団体 163	団体 139	kg 2,634,908	kg 45,140	kg 73,174	kg 2,753,222	本 9,411	円 16,547,660
22年度	172	150	2,844,701	48,980	69,230	2,962,911	6,080	17,795,490
23年度	162	156	2,891,890	54,384	71,256	3,017,530	5,715	18,122,080
合計	497	445	8,371,499	148,504	213,660	8,733,663	21,206	52,465,230

(注) 1kg当たり6円、リターナブルびんについては1本当たり3円の奨励金を交付した。

(3) ごみの分別等についての説明会の実施

希望する団体を対象に伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について説明会を実施した。また、廃食油の再資源化の説明会を行った。

(説明会開催回数 延べ 22回、参加人員 延べ 651人)

(4) ごみカレンダーの作成

地区別ごみの収集日を記載した「平成24年度版ごみカレンダー」を作成し、広報いせ3月1日号と同時に全戸に配布した。(平成24年度版作成部数 ごみ収集日カレンダー65,000部)

ごみの分別方法を記載した「ごみの分け方・出し方」については、平成23年度と平成24年度で内容に変更がないため作成を行わず、市民には平成23年度版をご利用いただき、経費の削減に努めた。

また、ごみカレンダーへの広告掲載を実施し、財源の確保に努めた。(広告掲載箇所数 20箇所、収入金額 600,000円)

(5) 伊勢市まちづくり市民会議環境分科会(ごみ関係)

分科会の事業のうち、ごみの減量化・資源化の推進を目的とした以下の事業に取り組んだ。
平成23年度実施事業

実施日	実施事業名	概要	備考
23. 6. 5	伊勢市駅前 ごみゼロ早朝清掃	「ごみゼロの日」にちなみ、まちの美化の意識啓発のため、伊勢市駅周辺を早朝清掃した。	参加者 約400人
23.10. 9	ごみゼロポスター コンクール表彰式	家庭でごみ問題について話し合うきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3Rの推進」「ポイ捨て・不法投棄の防止」などをテーマに作品募集を行ない、環境フェアにおいて受賞者への表彰式を開催した。	受賞者 計66名 (応募作品数 942作品)

6 不法投棄防止対策事業

(1) パトロール及び不法投棄監視カメラによる防止対策

不法投棄防止に対する啓発看板の作成及び配布とともに、市内4箇所を設置した監視カメラ（移動式）で、不法投棄の未然防止に努めた。

(2) 不法投棄の通報への対応

市民の通報を受け、現場で投棄物の調査を行い、投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、再発の防止に努めた。投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。なお、投棄場所が私有地の場合は、所有者に連絡して対応を求めた。

23年度不法投棄物回収実績：テレビ172台、冷蔵庫43台、洗濯機15台、エアコン8台、タイヤ169本 他。

7 広告収入の推進

新たな財源の確保及び事業経費の削減を図るため、じん芥収集車両・指定袋・ごみカレンダーにおいて広告主の募集を行い、企業広告を掲載した。

事業名	広告媒体	広告掲載箇所数	収入金額（年間）	募集開始年度
じん芥収集車両掲載 広告事業	じん芥収集車両	9箇所	円 1,440,000	平成21年度
指定袋制度運営事業	指定袋	12	640,000	平成21年度
ごみ減量・資源化事業 一般経費	ごみカレンダー	20	600,000	平成19年度
計	—	41	2,680,000	—

○ 一般廃棄物収集関係

市内の一般廃棄物（燃えるごみ、粗大ごみ、資源物及び小動物の死体）を車両46台、収集人員69名の体制（一部民間委託）で収集を行った。収集した一般廃棄物については、伊勢市、玉城町、明和町、度会町の4市町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。

また、ハッピーマンデー（年4回：海の日、敬老の日、体育の日、成人の日）、ゴールデンウィーク（4月29日）、年末（12月29日、30日）について臨時収集を行った。

1 収集体制

(1) 収集車両

一般廃棄物（燃えるごみ、資源物、粗大ごみ及び小動物の死体）の収集を46台の車両で行った。

4 t パッカー	3 t パッカー	2 t パッカー	2 t ダンプ	2 t パワー リフト
2 台	6 台	21 台	5 台	2 台

2 t トラック	1 t トラック	軽 四 ダンプ	軽 四 トラック	計
3 台	1 台	5 台	1 台	46 台

(2) 車両の購入

耐用年数が経過し、老朽化により収集業務に支障が出るため、車両を順次買い替え業務の効率化を図っている。平成 23 年度については、2 t トラックと 2 t ダンプ各 1 台を購入した。

種 別	金 額
2 t トラック	円 2,457,000
2 t ダンプ	3,402,000
計	5,859,000

(3) 車両の売却

収集コースの見直しや収集基地の集約に伴い、不要となった車両をインターネットオークションに基づき売却を行った。

種 別	金 額
4 t ダンプ	円 1,400,000
3 t パッカー	1,210,000
2 t パッカー	1,850,000
計	4,460,000

(4) 収集人員

一般廃棄物（燃えるごみ、資源物、粗大ごみ及び小動物の死体）の収集を 69 名の人員で行った。

職員	嘱託職員	計
名 66	名 3	名 69

(5) 委託関係

資源物の補助業務を伊勢市シルバー人材センター、粗大ごみ収集の一部を民間業者に委託した。

市内のうち旧伊勢市地区については資源びん、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、プラスチック製容器包装及びペットボトル、小俣町地区については資源びん、紙・布類、プラスチック製容器包装、ペットボトル、ガラス・くずびん類及び陶磁器類、御薗町地区については燃えるごみ、缶・金属類、資源びん、紙・布類、プラスチック製容器包装、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類の収集を、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた各地区の合理化事業計画（旧伊勢市地区、小俣町地区及び御薗町地区）に基づき、旧伊勢市地内の3業者、小俣町地区の2業者、御薗町地区の1業者に収集運搬の業務を委託した。

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 内 地	資源物回収補助業務委託	回収容器の洗浄及び補修業務委託 一式	円 11,676,589	23. 4. 1	24. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ収集運搬業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬業務委託 一式	1,478,400	23. 4. 1	24. 3. 31
旧 伊 勢 市 内 地	資源物収集運搬 （その1）業務委託	資源物（資源びん、紙・布類、プラスチック製容器包装）収集運搬業務委託 一式	63,525,000	23. 4. 1	24. 3. 31
〃	資源物収集運搬 （その2）業務委託	資源物（資源びん、紙・布類、ペットボトル）収集運搬業務委託 一式	55,955,550	23. 4. 1	24. 3. 31
〃	資源物収集運搬 （その3）業務委託	資源物（プラスチック製容器包装）収集運搬業務委託 一式	32,550,000	23. 4. 1	24. 3. 31
小 俣 町 内 地	資源物収集運搬 （その4）業務委託	資源物（プラスチック製容器包装、紙類、ペットボトル）収集運搬業務委託 一式	12,390,000	23. 4. 1	24. 3. 31

小 俣 町 地 内	資源物収集運搬 (その5) 業務委託	資源物(資源びん、 布類、ガラス・く ずびん類、陶磁器 類、プラスチック 製容器包装回収袋 配置、ペットボト ル回収袋配置) 収 集運搬業務委託 一式	円 7,030,800	23. 4. 1	24. 3. 31
御 菌 町 地 内	御菌地区 燃えるごみ・資源物 収集運搬業務委託	燃えるごみ、資源物 (缶・金属類、資源 びん、紙・布類、プ ラスチック製容器 包装、ペットボト ル、ガラス・くずび ん類、陶磁器類) 収 集運搬業務委託 一式	22,575,000	23. 4. 1	24. 3. 31
計	8 件	—	207,181,339	—	—

(6) 工事関係

利用者の利便性の向上を図るため、小俣資源拠点ステーションについては、資源庫の増設と駐車場区画の整備工事を行った。

伊勢中央資源拠点ステーションについては、作業性向上を図るため、大型シャッターの電動化工事を行った。また、利用者転倒防止のため、資源庫床面修繕工事を行った。

二見資源拠点ステーションについては、収集基地の集約に伴い、契約電力や量水器口径を変更する工事を行い、コスト削減を図った。

御菌資源拠点ステーションについては、老朽化などによりシャッターの修繕工事を行った。

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二 見 町 三 津 地 内	二見美化センター(二見 資源拠点ステーション) 量水器口径変更工事	量水器口径変更工 事 一式	円 98,700	23. 7. 11	23. 8. 3
〃	二見美化センター(二見 資源拠点ステーション) 契約電力変更工事	契約電力変更工事 一式	37,800	23. 7. 11	23. 7. 28
御 菌 町 小 林 地 内	御菌資源拠点ステーシ ョンシャッター修繕工 事	シャッター修繕工 事 一式	133,665	23. 12. 1	23. 12. 12
宮 後 2 丁 目 地 内	伊勢中央資源拠点ステー ションシャッター電 動化工事	既設シャッター電 動化 2箇所	525,000	23. 12. 14	24. 2. 6

小 俣 町 本 町 地 内	(注) 小俣資源拠点ステーション整備工事	建築工事 資源置場 2 棟 詰所 1 棟 便所 1 棟 電気設備工事 一式 給排水設備工事 一式 公共樹設置 一式	円 5,813,850	23.12.22	24. 3.15
宮 後 2 丁 目 地 内	伊勢中央資源拠点ステーション資源物保管庫床面修繕工事	床面修繕工事 一式	120,750	24. 3. 1	24. 3.19
計	6 件	—	6,729,765	—	—

(注) 建築住宅課施行

(7) 備品関係

資源拠点ステーションについて、受入可能な資源物の種類が開設当初より増加しており、資源物保管庫が手狭となっていることから、資源物の保管スペースを拡大し、利用者の利便性の向上を図った。

施行場所	物品名	購入概要	金額	着手	完了
大湊町内 地港内	鋼製物置	プレハブ倉庫 2 棟	円 512,400	24. 1. 25	24. 3. 26
神社港内 地内					
船江 4 丁目 地内	鋼製物置	プレハブ倉庫 3 棟	890,400	24. 1. 25	24. 3. 26
尾上町内 地内					
常磐 1 丁目 地内					
村松町内 地内	鋼製棚	鋼製棚 5 基	535,500	24. 2. 16	24. 3. 16
計	3 件	—	1,938,300	—	—

2 燃えるごみの収集状況

(1) 一般収集

燃えるごみの収集については、市内全域を 2 地区（月・木曜日地区、火・金曜日地区）に分け、旧伊勢市地区、二見町地区、小俣町地区を収集 15 コースにて週 2 回収集した。御薗町については、業務委託により同様に週 2 回収集を行った。

有料収集については、戸別に粗大ごみ等の収集を行った。

町内一斉粗大ごみ収集については、市内各自治会（区）の要請により年 1 回（33 日間）収集を行った。

早朝清掃、ボランティア清掃等に伴い発生するごみについては、随時収集を行った。

燃えるごみ		粗大ごみ		計	
延べ収集車数	収 集 量	延べ収集車数	収 集 量	延べ収集車数	収 集 量
車 17,932	kg 26,648,150	車 264	kg 200,900	車 18,196	kg 26,849,050

3 資源物の収集状況

缶・金属類、資源びん、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類について、市内を 22 地区（旧伊勢市地区 16、二見町地区 2、小俣町地区 2、御薮町地区 2）に分け、991 箇所の資源ステーションを設置し、プラスチック製容器包装は週 1 回、缶・金属類、資源びん、紙・布類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類は月 1 回収集を行った。

区分	缶・金属類	資源びん	新聞・折込チラシ	雑誌・雑紙類
収集量	kg 990,520	kg 1,213,620	kg 1,054,820	kg 1,293,930

段ボール	飲料用紙パック	布・衣類	ペットボトル	プラスチック製容器包装
kg 726,950	kg 25,690	kg 191,460	kg 432,820	kg 1,131,150

ガラス・くずびん類	陶磁器類	乾電池	蛍光管	計
kg 148,380	kg 287,440	kg 53,947	kg 22,830	kg 7,573,557

4 資源拠点ステーションの開設状況

資源物の収集効率の向上を図るため、資源拠点ステーションを平成 14 年度から順次開設している。開設状況としては、平成 23 年度末現在で 19 箇所開設（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・明倫・神社・厚生・早修・北浜・宮本・沼木・大湊・いせトピア・二見・小俣・御薮及び明野）し、支所での管理のほか、伊勢市シルバー人材センター及び地元自治会にステーションでの受付等の業務を委託した。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
船 江 4 丁 目 地 内 ほ か	資源拠点ステーション 受付等業務委託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	円 7,747,002	23. 4. 1	24. 3. 31
宮 後 2 丁 目 地 内	伊勢中央資源拠点ステ ーション受付等業務委 託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	1,100,000	23. 4. 1	24. 3. 31
宇 治 浦 田 2 丁 目 地 内	宇治資源拠点ステーション 受付等業務委託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	700,000	23. 4. 1	24. 3. 31
中 須 町 地 内	城田資源拠点ステーション 受付等業務委託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	700,000	23. 4. 1	24. 3. 31
二 見 町 三 津 地 内	二見資源拠点ステーション 受付等業務委託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	700,000	23. 4. 1	24. 3. 31
計	5 件	—	10,947,002	—	—

5 一般廃棄物処理手数料

(1) 粗大ごみ等の有料収集手数料として 661 件、2,956,100 円を徴収した。

また、猫等の小動物 238 体の死体収集を行い、そのうちペットとして飼われていた 52 体については、1 体につき 1,050 円の手数料として、54,600 円を徴収した。

区分	手数料	
	件数	金額
有料収集	件 661	円 2,956,100
小動物の死体	52	54,600
計	713	3,010,700

(2) 火災被害者 5 件、水害被害者 21 件の収集については、一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区分	火災被害者	水害被害者	計
件数	件 5	件 21	件 26

6 伊勢市ふれあい収集事業

一人暮らしで一定以上の介護認定を受けているお年寄りや身体が不自由な方など、燃えるごみや資源物を自ら集積所等まで出すことが困難な家庭に対し、燃えるごみ及び資源物の戸別収集を行うふれあい収集事業を実施した。

利用希望者の申請をもとに9回の審査会を開催し、43件の審査の結果31件の実施を決定した。

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の1市3町で構成する伊勢広域環境組合で、し尿等処理、火葬業務及びごみの適正処理を衛生的、効率的に行った。

23年度分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分				備 考
	し 尿	斎 場	ご み	計	
共通経費	千円 3,344	千円 641	千円 6,794	千円 10,779	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	199,024	38,633	404,420	642,077	実績割 100%
建設経費	21,509	3,998	253,811	279,318	平等割 10%、人口割 90%
公債費	13,558	—	131,233	144,791	元利補給金
清掃事業所負担金	—	—	600	600	
子ども手当特例交付金	143	151	293	587	
合 計	237,578	43,423	797,151	1,078,152	